

火山噴火予知連絡会幹事会議事録

日 時：平成8年2月5日（月） 12時00分～13時00分

場 所：気象庁 第2会議室（5階）

出席者：井田会長，岡田，浜口，渡辺，藤井（直），石原，加藤（国土庁：代理），懸（文部省：代理），澤田

事務局：西出，齊藤

オブザーバー：内藤（科技厅：代理）

1. 委員の異動・欠席の報告
2. 九重山の火山活動に関する幹事会の報告
 - ・12月22日拡大幹事会を開催。情報収集の対応について事務局からの御礼。
3. 伊豆東部火山群の活動に関する対応についての地震予知連との申合せ事項の報告
 - ・両予知連の連携強化を文書交換する。噴火予知連で了解の後，2月の地震予知連に向け回答し，地震予知連で了解を得られれば，両予知連が合意したとする方向。
 - ・組織としてばかりでなく，データの活用についてもしっかり行う必要もある。
 - ・全国についてはそのつど連絡を取り合い対応する。
 - ・科技厅の地震調査委員会との関係については，火山噴火予知連絡会の見解を報告するかたちを取りたい。連携については今後勉強しながら対応。
 - ・火山でない場所での群発地震についての火山噴火予知連の対応には難しい問題がある。
 - ・防災という立場から連携・協力は必要と考えている。
 - ・地震が現実にあった場合に取扱わないといけない。どの様な形で行うのがよいか検討をしたい。
 - ・勉強会としての開催は今後ありえない。
 - ・震研が主催して開催するようなことはどうか。そこに気象庁が入るかたちがよいのでは。必要に応じてフォーマルとすればよい。
4. 火山噴火の長期予測に関するワーキンググループ世話人会の報告
 - ・本日午前中世話人会で方針を話し合い，ワーキンググループの作業の効率化のために3つのサブグループを置いて個別に検討を行うことを提案。
5. 九重山の火山活動に関する緊急研究について
 - ・科学技術庁より科学技術振興調整費で緊急研究を行うこととしたので，その項目及び内容について説明。